

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生物学	HLA11-016	選択	1	1.2	後期 (隔週)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
宇賀 美奈子 他	B302	m.uga		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>〈目的〉 生物学では生命とは何かを問う。生命について考察するとき、科学的知識に基づいて生命を捉える生命科学的アプローチと人類が生命をどう捉えてきたのか、生命の進化、生命と科学と文明の相互関連性からとらえていく哲学・社会学アプローチがある。生命科学、生命倫理など複数の視点から生命について考える姿勢を身に着けることを目的とする。</p> <p>〈概要〉 生命にまつわるテーマについて、それぞれの視点からの知見を提示・解説する。それらの情報に基づき、グループでディスカッションを行いその結果を発表することで理解と考察を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	配布資料を覚えることが学習ではない。講義では説明しきれない情報を参考として提示するため、それを取り掛かりにして積極的に学びに行く姿勢を身に着けること。学び方に関する質問は歓迎するので、遠慮なく質問すること。				
教科書	教科書は指定しない。必要な資料は講義中に提示する。				
参考書	講義中に必要に応じて提示する。				
外部教材	講義中に必要に応じて提示する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	生命について生命科学的な仕組みを理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
②	生命について、哲学・社会的な視点を理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
③	生命の尊厳や生命倫理の視点と課題について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
④	生命に関する多様な問題点に気づき、自分自身の意見を述べるすることができる			HSU(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション ヒトの発生について学ぶ [宇賀] 受精から出生までの過程 (幹細胞・多分化能等)	講義	提示されたテーマについて自身の意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	3.5	
2	生体組織の再生と代替について学ぶ [宇賀] 生体の損傷を補う技術 (再生医療・人工臓器等)	講義	提示されたテーマについて自身の意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	3.5	
3	生物と生命について学ぶ [宇賀] ヒト以外の生命とのかかわり (家畜・実験動物・愛玩動物等)	講義	提示されたテーマについて自身の意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	3.5	
4	生命倫理を学ぶ 1 [松崎] 全体像 (四原則、Informed Consent、EBM 等) ののち、産む・産まれる (中絶、生殖補助技術、Designed Baby 等)。	講義	事前に課題を配信するので、授業後に取り組み提出する。	3.5	
5	生命倫理を学ぶ 2 [松崎] 生きる (再生医療、Clone、Enhancement、動物・Pet、薬物等)。	講義	事前に課題を配信するので、授業後に取り組み提出する。	3.5	
6	生命倫理を学ぶ 3 [松崎] 死ぬ (安楽死、脳死・臓器移植、自殺等)。	講義	事前に課題を配信するので、授業後に取り組み提出する。	3.5	
7	生命について考える [宇賀・松崎] (提示したテーマを選びグループでディスカッションをする)	グループワーク	グループごとにテーマを決めて意見をまとめる。発表準備をする。	4.5	
8	発表とまとめ [宇賀・松崎]	グループワーク	他者の意見を参考に自身の意見を見直す。授業後に提示される課題を実施する。	4.5	
試	定期試験は行わない。達成度評価・評価のポイントを参照				

【2024 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	40	30	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	5	0	5	20	
	思考・推論・創造する力	0	10	5	0	10	25	
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5	
	発表・表現伝達する力	0	10	5	0	5	20	
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5	
	問題を発見・解決する力	0	10	5	0	5	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	グループワークで取り扱ったものとは異なるテーマでレポートを課す。データに基づいて考察し、自身の意見が主張できているかを評価する。評価基準は講義中に提示する。				授業中もしくは Teams 上で総評を提示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	講義を通して関心をもったテーマについてグループでディスカッションした結果を発表する。テーマの内容を理解して意見を述べているかを評価する。評価基準は講義中に提示する。				授業中もしくは Teams 上で総評を提示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	各回授業後に課題を課す。				課題にはフィードバックコメント及び評価点を付して返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	松崎 昇 (B317)							
教員の実務経験								
実践的授業の内容								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</li> <li>なお、今後の感染症等の社会情勢によってシラバスの変更が行われる可能性がある。</li> <li>本講義は対面授業だが、連絡・資料配布・課題提出等に Teams を利用する。</li> </ul>							